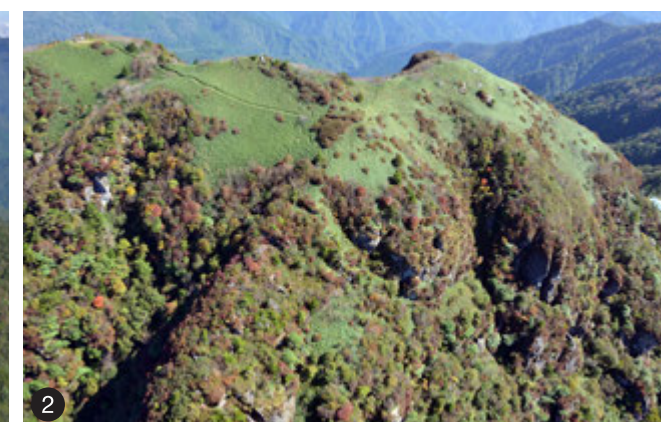


いしづちさんけい 石鎚山系森林生態系保護地域

四国で唯一の森林生態系保護地域です。
西日本最高峰の石鎚山を中心として、西は堂ヶ森まで、
東は筒上山を経て手箱山までの
約4,200ヘクタールの範囲が保護林になっています。
春は鮮やかな新緑、夏は高山植物が咲き乱れ、
秋は色とりどりの紅葉、冬は純白の世界になり、
四季折々の表情が楽しめます。写真：西ノ冠岳(右)と二ノ森(左奥)



面河溪上空から見た保護林。広大な原生林に様々な動植物が棲んでいます。
標高差は、一番低い面河溪関門付近(700m)から石鎚山(1,982m)まで約1,300mあり、関門付近の暖温帯林から中間
温帯林、冷温帯林を経て石鎚山頂付近の亜寒帯林に至るまで植生の変化(垂直分布)がよく観察できます。



①手箱山。なだらかな山容で高山植物が豊富です。②筒上山。ドーム型の山容が特徴です。③二ノ森。愛媛県第二の高
峰です。④堂ヶ森と石鎚山遠景。堂ヶ森から石鎚山までの尾根筋はササ原とシコクシラベ林が広がっています。